



夏の一番の楽しみ 水遊び 遙学園の庭

# 感謝 水上の友

発行 社会福祉法人  
大阪水上隣保館  
〒618-0001  
大阪府三島郡島本町  
山崎5丁目3-18  
発行人 黒川 芳 朝  
編集 広報委員会  
法人事務局 075-961-0711  
FAX 075-961-1144  
http://www.osakasuijyorinpokan.com/  
印刷所 (有)木村桂文社

## 何事も真心を持って

— 藤本登志子先生を偲んで —

爪田 (旧姓 甲斐) 明美

一件のメールが届きました。藤本先生の訃報の知らせです。指は震え、意味のない声を発し、呆然と子どものように泣きじゃくっていました。

母親を亡くすことは、こういう気持ちなのかと、両親を亡くしたとしても私には感じ得ない感情を体験しました。それは看護師の私への藤本先生の最後の教えのように思います。

看護師は人間が営む様々な場面に立ち合うことが多く、人の様々な感情や気持ち、思いを知ることが大切な経験のひとつです。

三十七年前の十五歳の春、隣保館を



故藤本登志子先生

巣立ちました。「何かあったら電話しなさい」と十円玉が沢山入った袋を藤本先生から手渡され

二〇一五年標語  
喜ぶ人と共に喜び、  
泣く人と共に泣きなさい  
— 新約聖書「マタの信徒への手紙」二二章一五節 —

ました。私は施設から出ることに浮き足立つ気持ちを抑えつつ、車に乗り込みました。いつもの笑顔で手を振り続ける先生の姿はアツという間に小さくなり、隣保館の風景が遠ざかっていくにつれて、涙が溢れ止らなかつたです。十五歳にはその涙の理由は言葉にできない複雑な思いの巣立ちでした。

四歳から小学校に上がるまでは、森先生に育てていただきました。隣保館の子どもたちの健康管理を担っておられ、怪我の手当てをされる姿を見て私は看護師になると決めたのです。

看護師になった私に藤本先生は何かにつけ「真心を持って」という言葉を投げかけていました。でも現実には敵しく次第にその言葉を忘れ、知識と技術を身につけることに専念するようになりました。真心を持って仕事をすることは困難で、そうあろうとすればする程矛盾の壁にぶち当たりました。

そのうちに人を信じることも出来なくなり、生きることを諦めかけたこともありました。人に傷つき傷つけ、でも手を差し伸べてくれるのも人でありそんな人たちに支えられ、私は今も看護師を続けることが出来ています。

藤本先生の足元にも及びませんが、「真心」を肝に命じ、これからもこの仕事に臨んでいきたいと思えます。

## 後輩のことも大切に

自分の生い立ちや境遇に憤りを覚えることもあると思います。どんな親の元に生まれようと、どこで育とうと人間の価値に関係ないのです。そのことを言い訳にせず、自分を大切に、自身に負けない心を育てて下さい。どっちの道を選択するべきか迷った時は隣保館にかえりましょう。先生方が正しい道へのヒントを下さいます。全ての子もたちが自らの手で良き人生を切り開いていけることを願っています。(一九七九年度卒園)

## 暑中御見舞い申し上げます

なぜあなたがたは今の時代を見分げえないのか。  
なぜ何が正しいかを、  
自分で判断しないのか。  
— 新約聖書・ルカによる福音書 一 二二章五六〜五七節 —

現憲法によってなんとか平和と福祉が守られ戦後七十年の夏を迎えます。この国を再び戦争ができるようにしようという動きが強まっています。今こそ改めて「汝、殺すなかれ」「汝の敵をも愛せよ」との聖書の教えを心に刻み、真の「平和」の実現と「福祉」の充実のために努めたいと思えます。  
暑さ厳しき折柄、皆様のご健勝を心よりお祈り致します。

二〇一五年 盛夏  
社会福祉法人 大阪水上隣保館

藤の里保育園 前園長の不祥事について (お詫びのご報告)

社会福祉法人大阪水上隣保館 理事長 黒川 芳朝

このたび、皆さま方の信頼を根底から覆す不祥事が法人内で発覚いたしました。当法人が設置運営しております「藤の里保育園(高槻市)」の前園長が、その地位を利用して、長期間、園の運営費等を数千万円も私的に流用していることが判明し、四月十五日付けで懲戒解雇いたしました。

八十四年前、創設者中村遙・八重子夫妻が大阪水上隣保館を創設して以来、一貫して「人のために尽くす」というキリスト教の隣人愛の精神に基づき法人内各施設を運営してきておりますが、こともあろうに施設長自らが「自分のため」に不正を繰り返していた衝撃は

年近くに及んでいること、横領の手段に内部調査に着手し、その段階で、前園長が不正を繰り返していた期間が十

も多数に上っていること等が明らかになりました。

このため、公正な立場から事実関係を検証し対外的に説明していく必要があると判断し、外部の専門家四名(弁護士・公認会計士とで構成)による第三者調査委員会を設置しました。不正流用額の確定を含む事案の解明や、法人運営の問題点、再発防止策などについて意見を求めることとしました。

ただ、現在も調査中であり、最終結果がまとめられた際に改めて皆さまにご報告したいと存じます。

法人としては、二度とこのような不正が生じないよう、全力を挙げ取り組む決意です。皆さま方におかれましては、引き続きご支援賜りますよう、切にお願ひ申し上げます。

皆さまから頂いたお便り

この度のニュースを拝見し、どんなにか皆さまが心を痛めておられることでしょうか...と、私も胸が痛くなります。どうか神様がこの時も傍にいて下さり、よき道へと導いて下さりますように...、大阪水上隣保館のお働きのためにご苦労されているお一人おひとりの上に、癒やしと励ましがありますように...、一日も早く、穏やかな日常と平安が訪れますように...と切に祈ります。父と母も共に天上で祈り願っていることと思います。たくさんの方々の祈りにあわせて...

川谷恵子(前理事長の「息女」)

社会福祉法人 大阪水上隣保館

Table with 2 columns: Position (e.g., 理事長, 理事, 監事, 評議員) and Name (e.g., 元大阪府教育長 山崎 護, 元山崎学園理事長 山崎 護, etc.)

本件のこれまでの主な経過

- 2015年3月20日(金) 藤の里保育園職員から理事長に対し「園長が園の公金を私的に流用している」との内部通報。《直ちに理事長をトップとする「コンプライアンス委員会」を設置し内部調査に着手》
4月3日(金) 臨時理事会を開催。早急に監督官庁に報告するとともに、外部の第三者による調査委員会を設置すること等の方針を決定。
4月6日(月)、8日(水) 高槻市・大阪府に経過報告。今後の対応につき指導・助言を要請。
4月13日(月) 第2回臨時理事会を開催。4月15日付けで前園長を懲戒解雇し、新園長に法人地域子育て支援部門チーフ・アドバイザーの渡邊治子を任命することを決定。同時に事実を隠蔽することなく全て公表していく方針を確認。
4月15日(水) 第三者調査委員会を発足。
4月16日(木) 大阪府及び高槻市の指導監査。
4月17日(金) 法人評議員への説明会を開催。
4月21日(火) 法人内で記者会見を開催。
4月28日(火) 藤の里保護者説明会開催。
5月16日(土) 臨時評議員会を開催。再発防止策等について意見具申を取りまとめ。

Table with 2 columns: Position (e.g., 法人 園長, 学校法人 園長) and Name (e.g., 山崎 稚, 山崎 稚, etc.)

# みんなの広場



カット絵・中一 ひばり

## 今となつては感謝

中三 男子

同年代や年上の人達との生活は、良い意味でも悪い意味でも刺激的でした。誘惑に負け学校を休むことも多くなると、先生達がうるさくなり、無視するとしつこく声をかけてきました。色々あったけど、何とかサポリ癖もなおし、高校へ進学できました。これもしつこく勉強を教えてくれた学校の先生、そして僕のことを叱り、励まし、褒めてくれたホームの先生のお陰です。正直うるさかったですが、今となつては感謝しています。

## 親はいないけれど

高三 男子

僕は十八年間施設で生活をしました。二歳まで乳児院、十歳まで遙で育ちその後ひびきに移動しました。思春期の全てを見てくれて、口うるさく怒られてイライラしたこともあったけど、それも全て僕を思ってくれた

からだと思います。

口喧嘩もいっぱいしたし、反抗してた時期もあったけど、僕を見放さずにいてくれてありがとう。そして進路と一緒に真剣に向き合ってもらい、現実的なアドバイスをありがとう。そのお陰で今の進路にたどりつけています。僕には両親はいなかったけど、たくさんの人達に支えられました。ありがとうございました。

## 看護師をめざって

高三 女子

ひびきでの生活は九年間、今思えば、小学生の時も中学生の時もすごく荒れていました。

学校では授業中に本を読んでいたたり、エスケープしたりしていました。

でも受験になると、一番大変で正直このままではこの高校も受からないといわれましたが、先生達が応援してくれたこともあり無事に合格しました。高校生活では、卒業のことも考えてアルバイトをして貯金することになりました。そしてホームヘルパー二級の資格もとりました。

進路を決める時、人の役に立てるような仕事をしたいと思い、看護助手になることにしました。

四月からは、看護助手として仕事をしながら、看護師を目指して勉強をしていきたいと思えます。

## (二〇一四年度卒園式答辞から)



▼「水上の友」をありがとうございませう。園の子どもたちの手記や施設の職員の方々のレポートを読んで、「私も頑張らねば」と元気をもらっています。坂本司君は働くようになったので自分を見つめ直すようになったのですね。

お兄さんや先生方、職親さんのご苦労がしのばれました。職員さんの書かれた「自分を大切に生きてくれる」ということ、その心を育てることは本当に大事なことです。

島本町 齊藤 悦子

▼坂本司君の率直な気持ちにふれて、ホットしています。自己表現までおさえつけられている今の子どもたちを見て不安でした。

自由のびのびと成長させたい水上隣保館の活動を支援していきたいと思えます。

京田辺市 石野 公平

▼「水上の友」を拝読させて頂いて、いつも励まされています。色々な事と葛藤しながら成長していく子どもさんの姿には涙を誘われます。

それを乗り越えた時、本当の強さを手に入れるのですね。私も負けないよう頑張りたいと思います。

高槻市 山本 初子

## 「第五十二回桜バザー」のお礼

今年の桜バザーは、四月十一・十二日(第二土・日)開催。過ごしよい天候に恵まれ、初参加の店舗やイベントを含め、述べ四百二十二名のボランティアのご協力で大いに盛り上がりました。地域の皆さま等ご協力頂いた全ての皆さまにお礼申し上げます。

総収入三五〇万四八〇〇円、総支出二二三万七八〇六円、純益一二六万六九九四円でした。

(法人参与 村瀬 愛)

## 計 報

小倉襄二さん  
(二〇一四年十二月七日召天)  
同志社大学名誉教授  
当法人前評議員

山本房子さん  
(二〇一四年十二月二十八日召天)  
遙学園卒園生

川谷和子さん(二月十四日召天)  
前理事長夫人・当館賛助者

柏木和宣さん(二月二十三日召天)  
日本キリスト教団教師・当館賛助者

佐藤達雄さん(三月二十六日召天)  
遙学園卒園生

藤本登志子さん(四月二十二日召天)  
元遙学園主任保母

御霊の上に神様の祝福が豊かにありますように心よりお祈り致します。

遙 学 園

子どもからの感謝状

今年初めての感謝状が  
届きました。



Rちゃんの世界

Rちゃんは、小柄だけどパワーがあり、明るく元気で少しお調子者の女の子です。素直に甘えを出し、何かある度に「私たち誕生日が一緒やな」と特別な関係であることを確認してきます。そんなRちゃんが、六年生の最初の参観日にどうしても私に来てほしいと何度も言うので何があるのかを聞いてみると、「感謝状を書いて皆の前で読むねん、濱口ちゃんに書いてから来てほしいねん」と言われました。私は担当児童を持っておらず、学校行事などは、留守番が多いのですが、この時は色々な予定を調整して久振りに行くことができました。



子どもたちの作品

クラスメイトたちも「どうしたん」「緊張してるん」「いつものRちゃんと違うな」「がんばれー」など口々に心配の声や声援を送ってくれました。少し時間をかけながら読み上げてくれた感謝状の内容は、Rちゃんと私が出会ってからの色々なエピソードや、気持ちなどで、その一つひとつに「ありがとう」が添えられていました。Rちゃんの極度の緊張が私にも伝わりハラハラドキドキしながら、読み上げられていく「ありがとう」にいつの間にか嬉し過ぎて泣いてしまい、今度は私がクラスの子たちから注目を集めてしまうことになりました。

(主任 濱口京子)

児童心理治療施設  
ひびき

俺は背景になる

最近、俺には色々な変化がある。朝起きることができなかつたり、服装がちょっとおしゃれになったり等ですが、最も深刻なのは運動ができなくなってしまったことです。

そうなるってしまった理由は、二年生の冬休み前から四ヶ月間自宅に戻って二ト生活をおくっていたからですが、その生活はひどいものでした。朝起きるとすぐにアニメを連続で観て、目の休憩を兼ねてチャールハンなどを作って食べ、続きを観て目の休憩で小説を読んで、またアニメを観て寝るという生活を続けていました。

こんな生活を四ヶ月続けると、陸上部で頑張っていたのに、二百メートル走っただけでも息切れがして倒れこんでしまうし、疲れやすい身体になってしまったのです。

この経験から、学校にはちゃんと行くことが良いと皆に言いたいです。一度休んでしまうと、「もう一日、もう一日」と言っただけで気がついたら、一週間とかになっちゃいます。もし休むとしたら、三日までにした方が良いと思います。

今俺は、背景になろうと思っただけです。背景とは、その場にいる誰も気にとめないし関わらない、その場になくても不自然じゃない、そんな存在

です。背景になるということは、無害・無干渉を徹底しなければならぬと思う。そうすることで、誰も傷つけないと思う。この考え方は、超平和・超ワンスリーな考え方で俺は思う。だから俺は、背景になると決めた。(中三 男子)

嬉しい成長の証

思春期真っ只中の彼は、様々な不安や悩み、苛立ちをうまく表現できず、モヤモヤした気持ちを抱えながら外との接触を拒みました。その期間は決して楽な生活ではなく、自分自身との葛藤の日々だったと思います。

その生活の中での気持ちの変化を自身でしっかりと受け止め、今の生活への糧とすることができていることは、彼の成長の証であると嬉しく感じています。(ケアワーカー 川口結衣)



みんなでのお好み焼

乳 児 院

♡ おしりふりふり

とてもお歌が大好きなRちゃん。お座りをしたまま動かないのに♪キラキラ光るお空の星よ♪と担当が歌うと、ア~~~~ア~~~~と声を張り上げながらお尻をフリフリしています。歌い終わると何もなかったかのようにじっと坐っているRちゃんでした。

(保育士 石阪博子)

♡ 母親の気持

入所してからもうすぐ二ヶ月になるAちゃん。私がいらないと玩具を振り回してしっかり遊んでいるのですが、私の姿を見つけるとめそめそと泣いていきます。その姿が本当に愛おしくてたまりません。

(保育士 植山三渚)

♡ ペンギンは友達

京都水族館に遠足に行ったM君。売



京都水族館

店で買ってもらったペンギンのぬいぐるみを両手で抱きしめながら帰ってきました。その日から寝る時は毎日一緒です。抱き締めすぎて少しパタンコになっているのはナイシヨ。

(保育士 杉本安有美)

♡ 勇気百倍 アンパンマン

遠足に初めて参加できたH君。電車の中ではやや緊張済み。駅に降りても「抱っこ〜」。でも、アンパンマンミュージアムにつながる道の至る所にあるアンパンマンの顔に勇気をもらい、いつしか元氣いっぱい走り回っていたH君でした。

(主任 丸谷くにえ)

♡ 抱っこ(1)

上手に甘えることが出来ないY君。抱っこして欲しい時、目の前で頭から何度も倒れて泣きながらアピール。半年が経ち、ようやくはにかみながら来て抱っこと言ってくれるようになりました。Y君これからもよろしくね。

(保育士 雲林院美保)

♡ 抱っこ(2)

最近歩き始めたR君。よちよちと一歩一歩踏み始めて楽しく歩いています。でもつまづいてストーンと座るとふえんと泣いています。「抱っこ?」と聞くと「うー!」との返事。表現の仕方

(保育士 今道さやか)

特別養護老人ホーム

弥 栄 の 郷

ミシガンクルーズ

この日は、待ちに待った外出で滋賀県大津にあるプリンスホテルヘランチバイキングと琵琶湖ミシガンクルーズへ利用者三名と職員三名で出かけました。

天気も良く晴れて最高の外出日和で、高速道路を走り約五十分でホテルに着。その三十七階にあるレストランで食事をしました。

目の前でステーキが焼かれ、目移りするような沢山の料理が並べられていてケーキにソフトクリームまでありました。それに三十七階から眺める琵琶湖が最高に綺麗で、皆さん満足された



と思います。

お腹もいっぱいになり、次はミシガンで琵琶湖へと思ったら、天気は良いものの、風が強いため、船がホテル横の棧橋につかないと言われ、急遽車で十分くらい離れた大津港へ移動することになりました。

ホテルよりタクシーを用意していたが、皆さん乗れるか心配でしたが、トランクに車イスをのせてスムーズに移動することができました。そしてミシガンクルーズへと出発。

船酔いが一番の心配でしたが大丈夫で、暖かい天候と少し強い風ながらも船の甲板でしばし遠くの山や、滋賀の街並みを眺めておられました。次に船の中のステーションに移動し、歌や琵琶湖の話など聞き、最後はその場で作ったハートや犬の形をしたフーセンをプレゼント、皆様笑顔で大変喜ばれていました。

(介護職員 中島史博)

就任の挨拶

四月一日より弥栄の郷施設長に就任いたしました。水上隣保館とは学生時代、真ホームで住み込みボランティアをさせてもらって以来のご縁です。

「この世にあってもっとも弱い立場にあり、一番困っている人のために役立ち、仕える」水上隣保館創立の精神を大切に励んでいきたいと思えます。よろしくお願いたします。

(施設長 井上幸久)

山崎保育園



自然と人、島本の環境に感謝

先日、来園されたお客様に「地域の方から頂戴した柚子で作りました」と氷の入った冷たい柚子ジュースが出されました。詳しく聞くと、毎年、地域の方から山で採れた梅や柚子をたくさん頂戴すること。柚子はきれいに洗われた後、五歳児が皮を剥き、果汁を絞ります。表皮を刻み、砂糖・果汁と一緒に瓶に詰め、しばらく熟成。柚子は喉によいことを教えてもらうと子どもたちは「クリスマス祝いできれいな声が出ますように」と感謝しながらいただきました。

こうした自然と恵み、地域の方々の厚い心に支えられ、子どもたちは様々な体験を通して成長できる環境が島本町にはあります。(園長 辻 亨)

認定子ども園 藤の里保育園



「うわあー!」

食育の一環として魚のさばき方を、子どもたちの目の前で見せました。普段はスーパーで切り身の魚は見ていても、一匹丸ごととなると段々と目の前から遠ざかり(笑)

海の魚・川の魚の感触の違いや、魚の大きさによってウロコの形や大きさが違うなどを発見!!

いざ、目の前で魚やイカなどをさばき始めると子どもたちからは「あっ! 何かでできたー」などと大きなおめめをパチクリさせて驚いていました。

最初は、怖がっていた子どもたちも「二枚おろし〜!三枚おろし〜!」とさばき方まで覚えて、最後は、いかに団子汁を食べて大満足でした。

(主任 星野智子)

山崎幼稚園



「今日の主役は、僕です」

心に残る日になるようにと各学年趣向を凝らした誕生会をホールで行っています。三歳児は、大好きなアンパンマン達がサプライズ登場し、四歳児はお祝いの歌に合わせて皆でダンスをしたり誕生児の保護者に赤ちゃんの頃の話し等を聞かせて貰っています。

五歳児は、桃太郎の劇に出演。司会者のインタビュに答えた後、クラスで誕生児の保護者と一緒に給食を食べ楽しいひと時を持ちます。給食を知って頂きたい機会となり、とても美味しいと好評を頂いております。

大きくなることは、子どもたちにとっては大きな喜びです。友達からの祝福を受け、誕生児たちは、とびっきりの笑顔です。(主事 佐古博子)

大阪保育福祉専門学校



ヤングアメリカンズに取り組んで

YAとはアメリカのNPO団体であるYAのスタッフが、地域の子どもと共に、三日間で音楽とダンスの舞台を作り上げていくイベントです。

YAに取り組むにあたって考えていたことは、「施設の子どもが他の子どもと関わる機会を設けたい。地域の保護者に自分の子どもと同じように施設の子どもの育ちを見守って欲しい」ということ。五回目となった今年は、遙・ひびき四十三名、他施設十四名の計五十七名が参加してくれました。子どもたちが一緒に楽しむ姿、その様子を地域ボランティアの方々が私たちに喜んでくださったことが、五年かけて培ってきたことのすべてのように思います。(副校長 植田彌生)

在宅養育支援センター  
みゆき園



スイーツおいしいね！

食堂から、甘く香ばしい匂いと調理器具の触れ合う音が聞こえてきます。風下がりひとき、みんなでお菓子作りに取り組みました。

お菓子の生地を両手で伸ばし、ぶよぶよした感覚が心地良く、満面の笑顔と共に楽しい気持ち溢れてきます。また、焼きあがった生地の上に、几帳面にトッピングしていくことも、それぞれみんなの持ち味です。集中して最後までやり遂げる姿は、とても頼もしく感じました。

出来上がった、スイーツを手にとって、ホイップクリーム、チョコクリームなど、自分で選べる中へ。おいしさと同時に達成感も味わっているようでした。  
(保育士 河村寛子)

ファミリーサポートサプリ村野



枚方市ファミリーサポートセンター

ポートは二〇一三年に、子育て広場「さびり」の運営と同時に枚方市ファミリーサポートセンター事業(通称ファミサポ)も受託しています。

ファミサポは各自治体にある会員組織。子育て経験のある市民が子育て家庭のサポートをする有償ボランティアの活動で、センターはその紹介やマッチング、養成講座の運営や「ファミサポ通信」を発行して会員さんたちの気持ちをつなぐのが主な役割です。

枚方は転勤などで転入者が多く、実家を頼れない家庭も多いのが現状です。そんな家庭のちよつと困ったところをサポートする心強い味方として皆さんから喜んでもらっています。  
(センター長 山下裕美)

ファミリーポートたかつき



初心にもとって

二〇〇六年十月、ファミリーポートたかつきは洋服店の二階で始まりました。日当たりもよく、明るいお部屋でしたが、急な階段の上り下りが大変危険なため、九年前お世話になった場所から今年二月同じ町内の一軒家に移転しました。

住宅街なので少し迷われることもあります。お友だちを誘って来て下さり日々賑やかなつどいの広場となってきました。毎日忙しい保護者の方が、少しでも気分転換して帰って頂けるようにスタッフ一同初心に戻り、親子が気軽に来てあそび、情報が交換できる場所でありたいと願っています。  
(こい職員 石原智春)

山崎保育園  
地域子育て支援センター



ママも赤ちゃんもダンス

ベビードンスインストラクターの小堀先生に来て頂き、ママも赤ちゃんも楽しめる「ベビードンス教室」を開催しました。ベビードンスは、お子さんを抱っこひもで抱っこし、簡単なステップを踏んでダンスをします。

産後のエクササイズも兼ねています。が、なんととっても親子の絆つくりができるコミュニケーションセラピードダンスです。

お母さんはステップをふみダンスを楽しみ、赤ちゃんはお母さんに抱かれゆられながらとても気持ちよさそうに眠りだす赤ちゃんもいました。「すごく楽しかったですー」とみなさんとても飲んでおられました。  
(子育て支援事業主任 岡本伸子)

